

【ユニット】 構造系実習

【ユニットディレクター】

UD：永島 雅文（解剖学）

UD 補佐：高野 和敬（解剖学） 栗崎 知浩（解剖学）

【一般的な目標】

豊かな人間性と温かい人柄に自らを育成すべく、常に倫理観を磨くために、献体されたご遺体を自ら解剖する実体験を通じて、人体の構造にみられる多様性と普遍性を理解し、臨床医学の基礎となる実証精神と、生命に対する畏敬の念を涵養する。

【具体的な目標】

1. 構造系実習マニュアルと教科書を手引きとして、人体の解剖を進めることができる。
2. 解剖学的構造の同定作業を通じて、実際の解剖所見を適切な用語を使って表現できる。
3. 多様な解剖所見に共通する形態の一般原則を発生学の視点から考察できる。
4. 解剖学の知識が画像診断や治療手技に応用される事例を説明できる。

【学習方法】

事前に配布する「実習マニュアル」を予習する。

午後1時30分に講義室に集合し、その日の実習に必要な解剖学用語をチェックする（前半の出席クイズ）。

マニュアルとビデオを使って実習の内容を説明するので、その日の行動目標を確認する。

「肉眼所見（局所解剖）」・「発生学的根拠」・「臨床的考察」の3要素がどの領域でも共通の要点である。

実習室では適宜、補足説明をするので、参考にしながら解剖作業を進める。

シラバスに掲げた内容を理解するため、たえず教科書を参照し、指導スタッフに積極的に質問する。

実習の終了時に出題された設問に解答し、実習内容の理解をチェックする（後半の出席クイズ）。

実習前後のクイズは学習到達度を自己点検する機会と考え、成績には反映させない（形成的評価）。

質問等は、授業時間に加えてオフィスアワーにも受け付ける。

詳細についてはユニット開始時に掲示する実習実施要領を必ず確認して指示に従うこと。

【評価方法】

全実習コマの9/10以上の出席により成績評価の対象とする。

出席日数が上記に満たない場合は評価の対象とせず不合格とする。

各実習回の前半の出席クイズの提出により1コマ目（4限）の出席とする。

各実習回の後半の出席クイズの提出により2・3コマ目（5・6限）の出席とする。

学期末に定期試験を行う。

ユニットの成績評価は、定期試験の結果のみに基づいて行う。

本試験はMCQ形式 50点満点、記述式問題 25点満点、口頭試問 25点満点で合計100点満点とし、合格基準は65点とする。

本試験で合格基準に達しない学生に対しては、学年末にユニットの再試験を実施する。

再試験はMCQ形式 50点満点、記述式問題 50点満点で合計100点満点とし、合格基準は65点とする。

再試験および追試験は1回のみ実施する。

【教科書】

- ◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂） 第20版
- ◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂） 第20版

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
構造系実習 01	04月07日	(火)	4~6	背部の浅層	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 02	04月09日	(木)	4~6	脊柱と脊髄	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 03	04月10日	(金)	4~6	頸部の浅層	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 04	04月14日	(火)	4~6	頸・胸部の浅層	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 05	04月16日	(木)	4~6	腹部の浅層と開腹	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 06	04月17日	(金)	4~6	頸部の深層	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 07	04月21日	(火)	4~6	腋窩と上肢帯	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 08	04月23日	(木)	4~6	上腕と肘関節	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 09	04月24日	(金)	4~6	前腕・手関節・手	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
構造系実習 10	04月28日	(火)	4~6	開胸・胸腔内臓器	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 11	04月30日	(木)	4~6	肺と心臓	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 12	05月01日	(金)	4~6	縦隔と横隔膜	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 13	05月07日	(木)	4~6	腹壁と腹膜	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 14	05月08日	(金)	4~6	中腸と後腸に由来する臓器	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 15	05月12日	(火)	4~6	前腸に由来する臓器	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 16	05月14日	(木)	4~6	後腹膜臓器と骨盤内臓器	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 17	05月15日	(金)	4~6	骨盤の内壁と外壁	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 18	05月19日	(火)	4~6	下肢帯・大腿・膝	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 19	05月21日	(木)	4~6	下腿・距腿関節・足	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
構造系実習 20	05月22日	(金)	4~6	頭部の浅層	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 21	05月27日	(水)	4~6	頭頸部の離断と正中断	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 22	05月28日	(木)	4~6	頭部の深層	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 23	05月29日	(金)	4~6	口腔・咽頭・喉頭	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造系実習 24	06月05日	(金)	4~6	内頭蓋底と眼窩	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
構造25	06月23日	(火)	3	まとめ	永島 (解剖学)